

下呂地域医療×デジタル連携協議会

次 第

日 時：令和5年3月23日（木）14：00～

場 所：下呂市役所下呂庁舎 3-1会議室

1 岐阜県あいさつ（岐阜県デジタル戦略推進課長）

2 下呂市あいさつ（下呂市副市長）

3 次年度プロジェクト概要説明（下呂市）

資料1

4 意見交換

医療DX

下呂地域医療 × デジタル連携協議会

令和5年度 プロジェクト（案）

令和5年3月23日(木)



令和4年度 下呂地域医療×デジタル連携協議会による取組

■ 地域医療の現状

- ✓ 下呂市では、医師数は減少傾向。特に、専門医が不足。
- ✓ 専門医に受診するためには、遠方の医療機関を受診しなければならない。

■ 「下呂地域医療×デジタル連携協議会」の設置

- ✓ 下呂市と岐阜県において、令和4年9月に「下呂地域医療×デジタル連携協議会」を設置。
- ✓ 下呂市は、上記地域医療の現状を克服するために、岐阜県とともに医療DXを活用し、遠隔診療やネットワーク構築による円滑な地域医療の提供、地域包括支援システムの構築の検討を開始。

■ 「下呂地域医療×デジタル連携協議会」での検討経緯

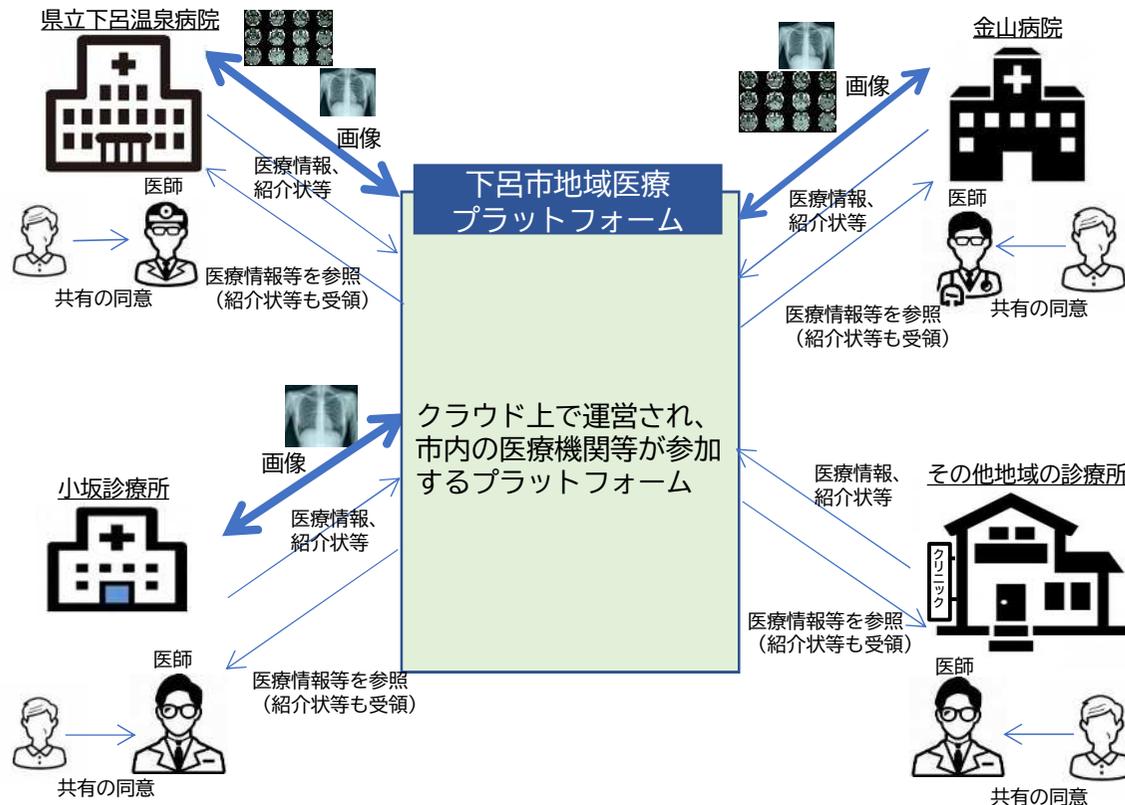
- ✓ 下呂地域医療×デジタル連携協議会を次のように開催し、検討。（下表参照）
- ✓ また、市内の基幹的な病院の担当者による担当者会議を実施。（令和4年12月28日）
- ✓ デジタル技術を活用した医師不足対策の参考とするために、くまもとメディカルネットワークの事業主体である熊本県医師会に視察を実施。（令和5年2月14日、15日）

開催日	実施した会議など
令和4年9月29日	第1回協議会開催
令和4年12月1日	第2回協議会開催
令和4年12月28日	担当者会議
令和5年2月14日、15日	くまもとメディカルネットワークに関する視察
令和5年3月3日	第3回協議会開催
令和5年3月23日	第4回協議会開催

令和5年度プロジェクト（予定）

■ 地域課題の克服に向けた地域医療プラットフォームの構築

- ✓ 下呂市は、令和5年度においては、市内において下図のようにクラウド上で運営される地域医療プラットフォームの構築を推進。
 - ・ 市内の医療施設が参加し、患者の同意を得た上で、医療情報等を共有、蓄積
 - ・ 地域の病院や専門医がいる病院と画像を相互活用 他



← データの送信、受信
 ← 画像の送受信

■ 構築に向けた問題点

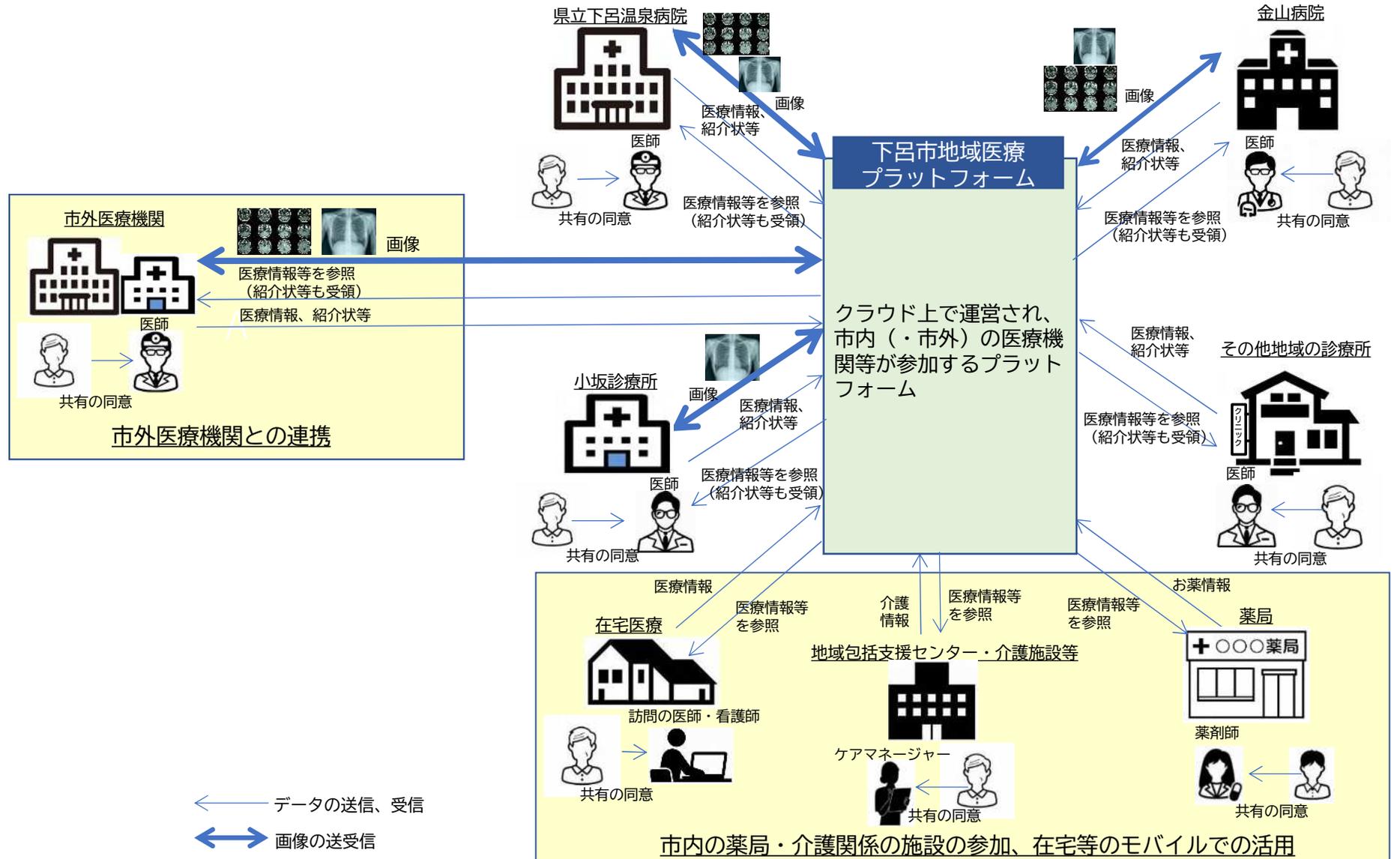
- ✓ 地域医療プラットフォームの構築に向け、今後下呂市では以下のような問題点への対応を検討。
 - ① 確実に活用してもらうための機能を有するシステム
 - ・ 利用者間の双方向性
 - ・ 医療と介護の連携 他
 - ② コンプライアンス上のマニュアル等の整備
 - ・ 個人情報保護法に関するマニュアルの作成（共有の同意等に関する手続等）
 - ・ 医療情報システムの安全管理に関するガイドライン（第5.2版）を反映したシステム運営基準の作成 他
 - ③ システム・データの標準化
 - ・ 診療データの標準化（SSMIX, HL7 FHIR）
 - ・ ソフトウェアの互換性
 - ④ 導入コストの負担軽減
 - ・ 補助金や基金などの活用（導入側への費用負担が重くならないようにする。）

令和6年度以降に目指す将来像（案）

■ 地域課題の克服に向けた地域医療プラットフォームの構築

✓ 下呂市は、令和6年度以降において、以下のような地域医療プラットフォームの拡張を検討。

- ・ 薬局、介護関係の施設も参加、在宅等のモバイルでの活用
- ・ 市外医療機関との連携 他



第4回下呂地域医療×デジタル連携協議会 議事要旨

1 日時

令和5年3月23日(木) 14:00 ~ 14:40

2 開催場所

下呂市役所下呂庁舎

3 出席者

別紙

4 議事概要

配布資料をもとに次第3「次年度プロジェクト(下呂市)」を説明。その後、出席者が説明内容等について意見交換。

【下呂温泉病院】

- ・ 前回の意見をまとめていただいた。大体これでよいと思う。
- ・ 医療において情報共有の必要性は非常に重要だと感じるため、本資料に載っていない病院への働きかけも重要である。
- ・ 本システムを全県下で運用することは難しいと把握したが、隣接している高山市や美濃加茂市などにも広げることを検討してほしい。

【下呂市】

- ・ 情報連携が必要な病院については令和5年度意向構成員への加入も含めて検討を進めていきたい。

【県(デジタル戦略推進課)】

- ・ 市外医療機関との連携については3ページにも記載しているところ。
- ・ まずは来年度市内のネットワークをしっかりと構築することが重要であると認識している。
- ・ それと並行して令和6年度以降の取組についても早めに検討していく必要がある。

【下呂市医師会】

- ・ 来年度の取組について理解した。
- ・ 地域包括ネットワークの構築については、時期は未定か。

【下呂市】

- ・ 順次できるところからプラットフォームに追加していければよいと考えている。
- ・ そのための検討は来年度から併せて検討していきたい。

【下呂市医師会】

- ・ 承知した。
- ・ 現場を理解していただくことが重要であるため、ケアマネージャーや各介護施設の長などに協議会に入っていただくのはどうか。

【下呂市】

- ・ 構成員の追加、見直しは令和5年度以降に検討していく予定。

【金山病院】

- ・ 診察料等はどうする予定か。

【下呂市】

- ・ 運用については今後検討する。
- ・ ケースバイケースの部分もあると思うが、ある程度の運用基準を設ける予定。

【消防本部】

- ・ 消防としてもモバイルを活用した救急車での患者情報の取得ができるネットワークの構築は希望したい。
- ・ 救急と病院がリアルタイムで情報をやり取りできるネットワークは理想だと感じる。

【下呂市】

- ・プラットフォーム上でやり取りできる情報などは今後検討していく予定。
- ・今回の協議会ではプラットフォームの構築のみにスポットを当て、合意いただき、来年度以降肉付けしていくようなイメージである。
- ・消防本部様の意見が可能かどうかも含めて来年度検討していく。

【金山病院】

- ・メディカルカードなどの複数の救急医療プラットフォーム等をうまく整合できればより良いシステムの構築につながると感じる。

【県（デジタル戦略推進課）】

- ・救急の関係については、国の方でマイナンバーカードを活用する方針もあり、動向を注視していく予定である。
- ・その中で下呂地域の動きと整合性をとっていくことが重要である。

【下呂温泉病院】

- ・クラウドの管理、データの管理はどこが行うのか。

【下呂市】

- ・クラウドはクラウド提供ベンダー（データセンター）が管理し、我々は利用するのみである。
- ・データの管理については今後検討だが、必要な部署が行うことになる。

【下呂温泉病院】

- ・プラットフォームを作成して情報連携を行うことについて賛成である。
- ・今後遠隔診療を見据えて構築する必要があると感じる。

【下呂市】

- ・下呂市としてもそちらを目指したいと考えている。
- ・プラットフォームで情報を共有しながら、診療の活用などができればよいと考えている。

【下呂温泉病院】

- ・将来的に下呂地域以外でも連携できるようなシステム構築とする予定か。

【県（デジタル戦略推進課）】

- ・市内から市外へ連携できるようにしていく中で拡張性の確保は重要だと認識している。
- ・どの程度拡張性が確保できるかは現段階では分かりかねるが、皆さんで考えて構築していきたい。

【下呂市】

- ・クラウドを活用するため、API などの機能を使ってより互換性を確保したシステムを検討し、柔軟なシステムになるのではないかと期待している。